

第1章 札幌市の観光への取組

1 平成27年度観光コンベンション部の事業概要

各事業の詳細については、【 】内に記載している各担当係までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

札幌市観光文化局観光コンベンション部観光企画課

電話 011-211-2376

○観光客の受け入れ環境整備事業

(1) 観光案内所の運営管理【観光振興担当】

来札客に各種観光情報を提供するため、市内に観光案内所を設置しています。常設の案内所のほか、観光シーズンやイベントに合わせて設置する案内所があります。

また、外国人来札客に対しての観光情報提供場所として、国際観光振興機構（日本政府観光局：JNTO）の認定による「外国人観光案内所」（下記注）があります。

※注 カテゴリー1：何らかの方法での英語対応、地域の情報を提供

カテゴリー2：英語対応可能なスタッフが常駐、広域の案内を提供

〔観光コンベンション部案内所一覧〕

名称	概要
北海道さっぽろ観光案内所 (カテゴリー2)	所在地：中央区北6西4 JR札幌駅1階西側コンコース 定休日：年中無休 営業時間：8:30～20:00 電話番号：011-213-5088
カッコウの窓口	所在地：中央区北1西2 北海道経済センタービル4階 札幌観光協会内 定休日：土日祝、年末年始 営業時間：8:45～17:15 電話番号：011-211-3341
大通公園観光案内所	所在地：中央区大通西3丁目 開設期間：春～秋季のみ 平成27年は4/24～10/31まで開設 定休日：開設期間中は無休 営業時間：9:30～17:30（4・5月、9・10月） 9:00～18:00（6～8月） 電話番号：なし
定山溪観光案内所	所在地：南区定山溪温泉東3丁目 定休日：年末年始 営業時間：9:00～17:00 電話番号：011-598-2012
札幌国際プラザ (カテゴリー1)	所在地：中央区北1西3札幌MNビル3階 定休日：日祝、年末年始 営業時間：9:00～17:30 電話番号：011-211-3678
雪まつり観光案内所	所在地：中央区大通西6・9丁目 開設期間：雪まつり会期中のみ 平成28年は2/5～2/11まで開設予定 定休日：雪まつり会期中無休 営業時間：9:00～22:00 電話番号：なし

(2) **観光マップ制作【観光振興担当（日本語版） 観光誘致・受入担当（外国語版）**

来札客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所等で配布しています。

(3) **観光案内板の管理【庶務係】**

来札客の利便性を図るために、191 基の観光案内板を設置しています。表示言語は、日本語・英語・中国語（簡体字・繁体字）・ハンガルの4言語です。また、ピクトグラム（絵文字表記）などユニバーサルデザインの採用にも努めています。

(4) **都心部観光バス待機場の設置【観光誘致・受入担当】**

観光バスで訪れた観光客が街なかを見学している間、バスが路上駐車をしなくても済むように、札幌市と北海道バス協会が観光バス専用の待機場を設置し、北海道バス協会が管理運営をしています。

所在地：中央区南8条西2丁目

〔平成26年度利用台数 15,236台〕

利用時間：8：30～21：00 ※平成27年8月3日より利用時間を延長

収容台数：30台

また、近年の外国人観光客の増加に伴い、市内中心部に流入する観光バスが増加していることから、平成27年8月21日から平成27年10月31日までの期間、北1条西9丁目に観光バス都心部臨時待機場を設置しています（収容台数：12台）。

(5) **札幌いんふお運営事業【MICE推進担当】**

スマートフォンやタブレットPC等に対応した観光アプリケーションソフトウェア「札幌いんふお」を運営し、札幌の魅力あるタイムリーな情報を日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハンガル、タイ語の多言語で提供しています。観光情報のほか、位置情報を利用して、目的地やユーザー周辺の情報を提供するなど、国内外の観光客の札幌滞在、周遊を促進します。

(6) **公衆無線LAN環境整備【MICE推進担当】**

市内の観光スポット等において、外国人観光客のニーズが高い公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備を進めます。

27年度の整備予定：市営地下鉄主要駅、大通公園、札幌コンベンションセンター、定山溪温泉エリア、円山動物園、チ・カ・ホ&北3条広場

○おもてなし推進事業【観光振興担当】

(1) **観光ボランティアの運営**

大通公園観光案内所や北海道さっぽろ観光案内所、雪まつり観光案内所で観光案内を行う市民ボランティアの活動を支援しています。

登録数は176名（男66名・女110名）、平均年齢は62.7歳であり、活動は交代制となっています（平成27年8月現在）。

(2) **札幌おもてなし委員会**

まち全体のおもてなし向上を目的として、観光関連団体（経済団体、観光関連事業者、都心部商店街、市民ボランティア、行政など）と連携・協力して設立した「札幌おもてなし委員会」の運営を行っています。大規模コンベンション等でのおもてなしや観光関連事業者の情報共有・ネットワーク化を行い、おもてなしのレベルアップを図っていきます。

○観光情報の発信

(1) ホームページの運営管理

ア) 観光情報サイト「ようこそさっぽろ」の運営管理【観光魅力づくり担当】

札幌市の公式観光情報サイトとして「ようこそさっぽろ」を公開しています。

このサイトは、交通機関や観光施設等の基本情報に加え、季節のイベントや新たな札幌の魅力を紹介する特集記事など、バラエティに富んだ観光情報を提供しています。日本語のほか、英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語・タイ語版があります。

ようこそさっぽろ <http://www.welcome.city.sapporo.jp>

イ) リアルタイム情報発信システム運営【観光振興担当】

市内における観光、文化、交通、イベント情報及び都心部のショッピング情報を集約し、市民及び観光客へわかりやすく提供すること、また、ホテルや観光案内所等の案内業務と連携することで、本市を訪れる観光客へのサービス向上を図ることを目的として「大通情報ステーション」を運営しています（市民まちづくり局都心まちづくり室に予算を委託し運営）。

所在地：地下鉄南北線「大通駅」コンコース横（出口5横）

定休日：年末年始（12/29～1/3）

営業時間：10：00～20：00 ※日・祝祭日は19：00まで

URL <https://www.sapporo-info.com/>

携帯電話用 URL <https://www.sapporo-info.com/sp/>

(2) 観光メールマガジンの配信【観光魅力づくり担当】

札幌観光の旬の魅力を広く発信するため、首都圏をはじめとする旅行会社の方々や観光関連会社の方々、市内外の一般の方々などを対象に毎月観光メールマガジンを配信しています。

メールマガジンの配信は、下記のホームページから申し込むことができます。

[平成27年8月現在の配信登録数 約2,350件]

札幌の観光行政(メールマガジン配信申込・バックナンバー紹介)

http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/mail_magazine/mail_magazine.html

(3) 観光情報共有メーリングリストの管理運営【観光魅力づくり担当】

季節情報(桜開花情報、紅葉情報など)や観光施設運休情報(もいわ山ロープウェイ、札幌近郊のスキー場など)、各種イベント情報等の観光関連情報について、観光案内所や市内ホテル関係者等で共有するためのメーリングリスト「観光情報ネット」を運営しています。

(4) 観光写真ライブラリー【観光魅力づくり担当】

企業等が札幌の観光ガイドブックやパンフレット制作を行う際に必要となる市内の観光スポット等の写真を保有しており、ホームページで無料ダウンロードサービスを行っています。[平成27年8月現在 約3,260枚保有]

観光写真ライブラリー

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/photolibrary/>

(5) Twitter (ツイッター)【観光魅力づくり担当】

Twitterにおいて「札幌市観光コンベンション部」の名前でアカウントを設けており、イベントの告知をはじめとした観光情報の発信を行っています。

[平成27年8月現在のフォロワー数 約26,000人]

札幌市観光コンベンション部@Sapporo_tourism(Twitter アカウント)

http://twitter.com/Sapporo_tourism

(6) Facebook (フェイスブック)【観光魅力づくり担当】

Facebookにおいて、日本語版と英語版のアカウントを設けており、写真を交えて札幌市内及び近郊の観光情報等の発信を行っています。

ようこそさっぽろ～札幌市の観光案内(日本語版)

<http://www.facebook.com/sapporocity>

Welcome to Sapporo(英語版)

<http://www.facebook.com/SapporoNow>

○集客交流拠点魅力アップ事業【観光魅力づくり担当】

(1) 藻岩山施設の運営・管理

藻岩山の観光施設について、より多くの市民・観光客に楽しんでいただけるよう施設管理や、各種イベントの充実を図っています。

(2) 鴨々川・中島公園エリア観光魅力アップ事業

昔ながらの街並が残り、日本的な歴史を感じられる鴨々川・中島公園エリアの魅力を再発掘し、観光資源として独自の価値を創出・発信することで観光客満足度の向上と誘客促進を図っていきます。

○さっぽろツーリズム推進事業【観光魅力づくり担当】

定番だけではない札幌ならではの魅力を生かした新たな観光コンテンツ(さっぽろツーリズム)の創造・発信に取り組んでいます。

○国内外へ向けた観光プロモーション事業

(1) 国内プロモーション事業【観光振興担当】

札幌の魅力を伝え、来札意欲を喚起させるため、一般消費者へのプロモーション事業や旅行会社等を対象とした商談会・視察会を実施するほか、写真や映像素材のライブラリーを整備し、札幌の魅力発信の強化に取り組みます。

ア) 観光説明商談会・視察会事業

さっぽろ広域観光圏推進協議会^{※1}や道内中核都市観光連携推進協議会^{※2}等との連携により、道内外の旅行会社、航空会社及び旅行誌出版社を対象に視察会を兼ねた観光説明商談会を実施し、商品化や各種媒体への露出を促します。

※1 さっぽろ広域観光圏推進協議会 8ページ参照

※2 道内中核都市観光連携推進協議会 7ページ参照

イ) インターネット来札キャンペーン事業

インターネットを活用した来札キャンペーンを実施し、多くのエンドユーザーに冬の魅力を発信することで観光閑散期における来札観光客の増加を図ります。

ウ) フォト・ムービーライブラリー整備事業

札幌の魅力ある観光資源を収録した写真や映像素材を収集し、各種プロモーションに活用していくとともに、企業等が自社の広告媒体等に掲載できるようインターネット等を通じて提供することで、露出機会の拡大を図ります。

エ) さっぽろ雪めぐり回廊事業【観光魅力づくり担当】

さっぽろ雪まつりの期間中、多くの観光客や市民が往来する札幌駅前通地下歩行空間において、札幌の観光情報や創造都市としての魅力を発信する場として、さっぽろ雪めぐり回廊を実施します。

(2) 国際プロモーション事業【観光誘致・受入担当】

平成 26 年度の外国人宿泊者数は、141 万 6 千人で過去最多となり、これまでで最多であった平成 25 年度の 105 万 5 千人と比較すると 34.2%の増加となりました。

札幌市では、さらなる外国人観光客の増加を図るため、現地での観光プロモーションや国際旅行博覧会への出展、招請事業などにより、札幌の観光情報の提供や魅力の発信を行っています。

今後も国ごとのマーケット情報を踏まえた形で、札幌の魅力を効果的に伝えられるプロモーションを検討します。

ア) 現地プロモーション事業

中国とタイを対象に、公募型プロポーザルによる事業を行います。

イ) 国際旅行博覧会出展事業

旅行関係者や旅行に関心の高い一般市民が集まる場で、観光PRや情報提供を行うことにより、誘客につなげると同時に、来場者からの聞き取りによる市場調査を行います。

27 年度出展予定：BITE（中国）、GATF（インドネシア）、TITF（タイ）、トラベルマート（日本）等

ウ) 招請事業

札幌の魅力を実際に体験してメディアを通じ広く発信することや、札幌を訪問地とする旅行商品の造成を目的として、TV局、旅行雑誌等のメディアや、旅行会社等の関係者を招請します。

27 年度実施予定：タイ、シンガポール、マレーシア、ベトナム、フィリピン

エ) 現地広告事業

インドネシア、マレーシアで開催される旅行博覧会の期間にあわせて、公共交通機関や屋外広告等を利用した広告事業を実施します。

オ) 観光マップ制作

海外からの観光客の円滑な周遊をサポートするためのツールとして、中心部及び広域マップに主な観光施設を掲載した、外国語版「さっぽろ観光マップ」を発行し、市内各案内所にて配布しています。

制作言語：英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語、タイ語

○MICE 誘致・支援事業【MICE 推進担当】

企業等の会議（Meeting）、報奨旅行（Incentive Travel）、国際会議・学術会議・学会等（Convention）、展示会・イベント（Exhibition/Event）の頭文字を取り、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント等の総称として用いられている「MICE」は、高い経済効果や国際的なブランド力の向上に繋がるものと期待されています。

札幌市の MICE の推進にあたっては、公益財団法人札幌国際プラザ・コンベンションビューローがワンストップサービス機能を担いながら、MICE 見本市への出展、キーパーソンの招請などの誘致プロモーション、MICE 開催のコーディネートや受入の支援、首都圏での情報収集と誘致活動を行っているほか、コンベンションの運営費用にかかる助成金制度やインセンティブツアーへのサポート制度を運用しています。

札幌市では、平成 27 年 4 月に、今後 5 年間の MICE 推進の新たな取組の方向性を定めた「札幌 MICE 総合戦略」を策定しました。今後は、「札幌の魅力あふれる“ONLY ONE” MICE 都市」を目指し、MICE 誘致における札幌の独自の強みを生かしながら、現状分析を踏まえた新たな取組を展開していきます。

○PRツールの制作、配布・貸出【観光振興担当】

札幌の観光の魅力を視覚的にアピールしていくために、広報宣伝物を制作し、配布または貸出を行っています。

(1) 観光PR用DVD・映像ライブラリー素材

本市では、観光PR用のDVDを制作しており、様々なPRの機会をとらえて放映や配布を行っています。また、制作時に撮影した映像の一部をライブラリーとし、DVDとともに広く貸し出しています。

貸出物の名称	言語	メディア	備考
「CINEMATIC CITY SAPPORO」	日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル	DVD	初版：平成23年度 改訂：平成24年度
「歓迎交響曲 札幌」	日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル、タイ語、ロシア語	DVD	初版：平成13年度 改訂：平成25年度 ※ナレーション付き
「Artscape SAPPORO」	日本語、英語、中国語（簡体字・繁体字）、ハングル、タイ語、ロシア語	DVD	初版：平成26年度
「CINEMATIC CITY SAPPORO」 映像ライブラリー素材		DVD[MPEG-2]	解像度 720×480
		テープ[HD-CAM]	解像度 1440×1080
「歓迎交響曲 札幌、 Artscape 札幌」 映像ライブラリー素材		DVD[MPEG-2]	解像度 720×480
		テープ[HD-CAM]	解像度 1440×1080

札幌市ホームページ「札幌観光PR用映像及び映像ライブラリー素材について」

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/eizo/eizo.html>

ようこそさっぽろ「札幌観光映像」のページ

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/learn/movie/>

(2) 観光PRパンフレット・ポスター

本市では、さまざまな機会をとらえた幅広いプロモーション活動を行うため、観光PRパンフレットとポスターを制作しています。制作したパンフレットやポスターは、全国各地で行われる物産展や各種イベント等で配布、掲出しています。

○来札観光客の動向調査・分析、結果についての情報提供【庶務係】

(1) 来札観光客数、外国人宿泊者数の調査

札幌市への来札観光客の入込数や宿泊施設の利用状況などの調査を行い、本書「札幌の観光」やインターネットで公開しています。

札幌の観光行政(観光統計データ)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/statistics/statistics.html>

(2) 来札観光客動態調査

来札観光客の動態を明らかにし、今後の観光行政に活用することを目的に、以下の調査を実施しています。

なお、過去の調査結果はホームページで公開しています。

札幌の観光行政(計画・調査レポート)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/program/program.html>

ア) 来札観光客満足度調査

道外からの観光客を対象に、来札観光の満足度、観光消費額、宿泊日数、再訪意

向などに関するアンケート調査を実施しています。

〔平成 26 年度 来札観光客の札幌観光に対する総合満足度：92.5%〕

イ) 外国人観光客動態調査

外国人観光客を対象に、市内での観光行動や満足度などに関するアンケート調査を実施しています。

〔平成 26 年度 外国人観光客の札幌観光に対する総合満足度：96.6%〕

○札幌市観光まちづくりプランの策定【庶務係】

札幌市では、平成 25 年度に、観光を通じた豊かなまちづくりを進めるため、「札幌市観光まちづくりプラン」を策定しました。

このプランは、札幌観光の現状分析を行ったうえで、目標像として「産民学官が連携する観光まちづくりの実現」を掲げ、基本的な施策の方向性や優先的に実施すべき重点施策など、平成 34 年度までの 10 年間の観光の取組の方向性を示しています。

なお、観光を取り巻く社会経済情勢の変化に対応するため、統計データの更新や新たな取組の追加を行い、情勢適応型の計画として、柔軟に見直しを行うこととしています。

札幌の観光行政(札幌市観光まちづくりプラン)

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/plan/index.html>

○定山溪地区の観光振興【観光魅力づくり担当】

平成 27 年 3 月に策定した「定山溪観光魅力アップ構想」に基づき、定山溪地区のソフト事業の充実や必要なハード整備に向けた取組を行っていきます。

(1) 定山溪観光客誘致関連

地域が実施するイベントやプロモーションなど来客誘致強化や受入体制の充実を目的とした事業への支援を行います。また、平成 28 年に開湯 150 周年を迎えることから、周年記念行事等への支援を実施します。

(2) 定山溪エリア集客交流拠点施設等基本計画及び景観ガイドラインの策定

定山溪地区の魅力向上を目指し、集客交流拠点施設及び当該施設を核とする各種施設の整備に関する基本計画並びに地域の特色をいかした景観的な魅力を高めるためのガイドラインの策定に向けて、検討を行っています。

(3) 定山溪観光魅力アップ空き店舗活用補助事業

定山溪地区のにぎわい創出に向け、定山溪温泉街の空き店舗活用にかかる地元ニーズや物件所有者の意向等の調査を実施し、空き店舗への出店を促進するための支援を行います。

(4) 定山溪にぎわいプロジェクトの実施

市立札幌開成中等教育学校と協同し、定山溪地区における体験学習の推進を行うことにより、定山溪の魅力向上に取り組むサポーター育成を図ります。

○北海道内の魅力を活かした広域連携による周遊、滞在の促進【観光振興担当】

札幌市の周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした滞在型観光の促進や道内中核都市間において道内外観光客の域内交流を図るなど、北海道の広域的な魅力を活かすために自治体間において連携した取組を行っていきます。

(1) 札幌広域圏組合

札幌広域圏組合は、広域的な地域振興を図ることを目的に、石狩管内 8 市町村で構成している特別地方公共団体です。圏域内交流や圏域振興については構成市町村と密度の濃い連携のもと、互いの強みを活かしながら、「点」としてではなく「面」として札幌

圏域の魅力づくりを行っていきます。

平成 27 年度は、圏域住民の域内循環活性化を目的として、札幌圏域の価値ある食の「逸品」を発掘して紹介するほか、地域の創意工夫に満ちた着地型観光商品「地域旅」を核に、地域の魅力を組み合わせた圏域住民向けのおでかけプランを提案し、情報発信します。

(2) 道内中核都市観光連携協議会

北海道内の中核都市(函館市・旭川市・釧路市・帯広市・北見市・札幌市)による「道内中核都市観光連携協議会」を平成 23 年 4 月に設立しました。平成 27 年度は、域内交流を目的とした「道内 6 都市集客・周遊プロモーション事業」(中核 6 都市の観光施設を巡るスタンプラリーの実施)をはじめ、北海道さっぽろ「食と観光」情報館イベントスペースにおいてポスターの掲出及びパンフレットの配架などを行います。

(3) さっぽろ広域観光圏推進協議会

札幌市中心部などの都市としての魅力と周辺市町村に広がる大自然を観光資源とした札幌圏での 2 泊 3 日以上滞り型観光を促進するため、周辺市町村や民間事業者と連携して「さっぽろ広域観光圏」を設立しました。「さっぽろ広域観光圏」では、少ない移動時間で都会と自然の両方を満喫できることをメリットとして各種事業を展開しています。平成 27 年度は、道内大手旅行雑誌とタイアップし圏域内のドライブコースや観光情報を発信するほか、圏域内の隠れた魅力を発掘するためフォトコンテストキャンペーンを実施します。

○各種まつりの連絡調整【事業調整担当】

(1) さっぽろ雪まつり

昭和 25 年に始まったこのまつりは、札幌を代表する世界的なイベントで、平成 28 年で 67 回を迎えます。約 200 基の雪氷像が 7 日間にわたり市民や観光客を楽しませます。(つどい会場は第 67 回より 1 4 日間開催予定) 第 66 回さっぽろ雪まつりでは、235 万人の方が来場しました。

(2) さっぽろライラックまつり

ライラックの開花時期に大通公園で開催。昭和 34 年に第 1 回が開かれ平成 27 年で 57 回を迎えました。

(3) Y O S A K O I ソーラン祭り

平成 4 年に始まったこの祭りも平成 27 年で 24 回を迎え、約 200 万人の来場者が訪れる札幌の初夏を彩る一大イベントです。

(4) さっぽろ夏まつり

昭和 29 年に夏の観光名物の新規開拓を目指し誕生。平成 27 年で 62 回を迎えました。イベントの中心となっているのが福祉協賛さっぽろ大通ビアガーデンと北海盆踊りで、都市公園で 4 大ビールメーカーが一同にビアガーデンを開催するのは全国的にも珍しいものです。

(5) さっぽろオータムフェスト

平成 20 年度から、札幌の新たな秋のイベントとして開催。平成 27 年で 8 回目の開催となります。「北海道・札幌の食」をメインテーマとして、道内各地の旬の食材、ご当地グルメやラーメン、道産のお酒などを提供します。平成 26 年には、約 200 万人の方が来場しました。

(6) さっぽろ菊まつり

昭和 38 年に菊作り愛好者が増える中、小規模な同好会活動が一本化され、全市的なスケールのイベントとして誕生。平成 27 年で 53 回を迎えます。平成 23 年の第 49 回か

らは、メイン会場を同年開通した札幌駅前通地下広場に移しました。

(7) さっぽろホワイトイルミネーション

昭和 56 年に秋の観光シーズンとさっぽろ雪まつりをつなぐイベントとして誕生。平成 27 年で 35 回を迎えます。会場は大通公園、駅前通り及び南一条通りで、総数 45 万個もの電球が飾られ北の街の夜を幻想的に彩ります。

(8) ミュンヘンクリスマス市 in Sapporo

平成 14 年にミュンヘン市との姉妹提携 30 周年を記念し開催されました。会場は大通西 2 丁目で、ドイツのクリスマス市にちなんだ物販が行われ、札幌とミュンヘンの国際的な交流の場として市民に親しまれています。

○「札幌コンベンションセンター」の運営管理【MICE 推進担当】

国際会議や各種学会等の大規模な会議に対応できる大型コンベンション施設を設置しています。

〔札幌コンベンションセンター〕

所在地	白石区東札幌 6 条 1 丁目
電話番号	0 1 1 - 8 1 7 - 1 0 1 0
開設年月	平成 15 年 6 月
構造／延床面積	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下 1 階地上 3 階／20, 309. 90 m ²
開館時間	午前 9 時から午後 10 時まで（休館日 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日）
管理運営	SORA-SCC 共同事業体（指定管理者）
主要施設	大ホール（シアター形式 2,500 人収容）、特別会議室（シアター形式 700 人収容） 中ホール（シアター形式 600 人収容）、小ホール（固定席 193 人収容） 会議室（15 室）、野外展示場、駐車場（475 台収容）
敷地面積	41, 018. 51 m ²
(URL)	http://www.sora-scc.jp/

○「札幌国際ユースホステル」の運営管理【庶務係】

来札観光客に低額な料金で、安全で快適な宿泊を提供する施設として札幌国際ユースホステルを設置しています。

〔札幌国際ユースホステル〕

所在地	豊平区豊平 6 条 6 丁目 5 番 35 号
電話番号	0 1 1 - 8 2 5 - 3 1 2 0
開設年月	平成 12 年 4 月
構造／延床面積	鉄筋コンクリート造 地下 1 階付 4 階建／1, 967. 64 m ²
定員／利用期間	120 人／通年
管理運営	一般財団法人北海道ユースホステル協会（指定管理者）
宿泊料金等	宿泊 3, 800 円（中学生以下 3, 300 円、4 歳未満無料）（冷暖房、シーツ料、税込）食事（朝食 680 円）
敷地面積	918. 93 m ²
(URL)	http://www.youthhostel.or.jp/kokusai/

2 平成 27 年度観光文化局観光コンベンション部の機構・職員数

局長	部長	課長	係長	係員
観光文化局長	観光コンベンション部長	観光企画課長	庶務係長	2名
			主査（調整）	
			事業調整担当係長	1名
		観光振興担当課長	観光振興担当係長	2名
			観光魅力づくり担当係長	2名
			シティPR担当係長 （総務局東京事務所シティセールス担当係長兼務）	
		国際観光・MICE推進担当課長	観光誘致・受入担当係長	2名
			MICE推進担当係長	2名
		定山溪地区担当課長 （南区定山溪出張所長兼務）	定山溪地区担当係長 （南区定山溪出張所次長兼務）	
		1名	1名	4名
合計職員数 26名				

3 平成 27 年度予算の概要

《平成 27 年度観光コンベンション部 予算の概要》

予算総額 1,538,508 千円（対前年度当初予算比 74.4%の増）

観光振興費

・観光企画宣伝費	58,932 千円	事務経費
・観光案内所運営費	58,284 千円	札幌駅、定山溪、大通公園の観光案内所運営
・観光施設運営管理費	165,325 千円	定山溪地区観光関連施設等の維持管理
・夜のさっぽろ魅力創造事業費	5,000 千円	夜間観光コンテンツの研究及びモデル事業の実施
・さっぽろツーリズム推進費	5,000 千円	新たな観光コンテンツの創造・発信

観光行事等助成費

・観光行事等助成費	120,542 千円	各種まつり、札幌観光協会等への補助
-----------	------------	-------------------

集客交流促進費

・国内観光振興事業費	32,860 千円	国内観光客誘致事業の実施
・国際観光促進事業費	54,330 千円	アジアを中心とした海外からの観光客誘致事業の実施
・外国人おもてなしコミュニケーション講座事業費	10,000 千円	外国人おもてなしコミュニケーション講座の実施
・MICE・観光客受入環境整備事業費	88,000 千円	観光施設等の公衆無線LAN環境の充実
・観光活性化基礎調査費	25,373 千円	観光客満足度調査、観光イベントの経済効果調査
・おもてなし推進事業費	10,487 千円	観光客に対する市民ぐるみのおもてなし事業の実施
・広域連携による観光振興事業費	11,258 千円	さっぽろ広域観光圏等による周遊事業の展開
・札幌いんぷお運営費	11,600 千円	携帯端末を活用した情報提供による周遊促進
・戦略的観光資源発掘・創出事業費	6,000 千円	外国人観光客のニーズに合致した観光資源の発掘・創出
・国際観光有望市場誘致強化事業費	18,000 千円	タイ・インドネシアからの観光客誘致事業の実施
・外国人観光客受入環境整備事業費	2,400 千円	コールセンターにおける観光情報の提供、公衆無線LANの環境整備
・ムスリム旅行者有望市場誘致強化事業費	25,500 千円	ムスリム旅行者誘致強化
・観光バス路上駐車対策事業費	29,000 千円	観光バスの路上駐車対策
・外国人観光客受入推進事業費	2,000 千円	観光案内所のあり方調査
・プレミアム付旅行券発行事業費	148,000 千円	プレミアム付旅行券の発行

都市魅力向上費

・さっぽろ雪まつり事業費	213,537 千円	実行委員会への補助・大通会場における大雪像制作
・さっぽろ雪まつり魅力アップ事業費	185,000 千円	雪めぐり回廊、プロジェクションマッピング、アートステージ等の実施
・定山溪地区魅力アップ事業費	39,000 千円	定山溪の魅力向上に向けた構想の策定及び支援事業の実施
・集客交流拠点魅力アップ事業費	11,996 千円	藻岩山施設の運営管理、各種ソフト事業の実施等
・さっぽろホタテフェスト事業費	32,830 千円	北海道・札幌の食をテーマにしたイベントの開催
・さっぽろホワイトイルミネーション魅力アップ事業費	50,000 千円	新規オブジェ制作、LED風船実施等

コンベンション推進費

・MICE 施設整備検討事業費	5,500 千円	MICE 施設整備に関する調査
・コンベンションビューロー運営費補助金	68,754 千円	コンベンションビューローの事業に対する補助
・MICE 誘致促進補助金	13,000 千円	MICE 誘致促進のための開催費補助
・MICE 推進事業費	31,000 千円	見本市の出展など、MICE 誘致に係る事業の実施

4 トピックス

○外国人宿泊者数の増加

【庶務係】

平成 26 年度における札幌市の外国人宿泊者数は年間 142 万人となり、過去最多を記録した平成 25 年度の年間 105 万人と比較すると 34.2% の増加となりました。

国・地域別に見ますと、東南アジアからの宿泊者数が伸びており、特にフィリピンからの宿泊者数は前年度に比べて約 2.5 倍となっています。また、札幌市における外国人宿泊者の大半を占める東アジア(台湾・香港・中国・韓国)からの宿泊者数についても、順調な伸びを示しています。

主な増加要因としては、円安基調の継続や訪日ビザ要件の緩和措置、消費税の免税制度の拡充などが考えられます。

日本全体でも平成 26 年の訪日客数は 1,341 万人となり、初めて年間 1,300 万人を突破しました。国では平成 32 年までに訪日客数年間 2,000 万人達成を新たな目標としています。札幌市においても、平成 25 年度に策定した『札幌市観光まちづくりプラン』の中で、外国人宿泊者数を平成 34 年度までに年間 157 万人にすることを数値目標として設定しており、今後は、特に東南アジア圏を有望市場として観光客誘致を強化し、更なる外国人宿泊者数の増加を目指していきます。

